

この冬初めての雪景色



1月末に訪れた強い寒波により、福津市でもこの冬初めての積雪がありました。23日の夕方から降り出した雪に備えて、食料品店やガソリンスタンドには、いつもより多くのお客さんが行列を作り、交通渋滞も発生していました。風も治まった翌日の早朝、高い丘まで散歩に出かけると、いつもの風景がまるで北国を思わせるような景色に変わっていました。また、水道管から水が噴出している光景にも遭遇し、改めて冬の寒さを実感した朝でした。

【福崎信一さん】

なごみのアイドル



津屋崎千軒なごみで朝9時から始まるラジオ体操に、山本みづきちゃんという2歳の女の子が毎日参加しています。昨年の夏から参加し、最初は見ていただけでしたが、家でテレビを見て覚え、難しい第2体操もマスターしたそうです。小さな体を伸ばしたり跳んだり、一生懸命に体を動かす姿に、「なごみのアイドルですね」と参加者の一人は目を細めています。お母さんは「挨拶ができるようになり成長がうれしいです」と温かく見守っていました。

【櫻井紀子さん】

新春を祝う大正琴の調べ



1月9日、津屋崎千軒なごみで今年最初のイベント、ひまわり会による大正琴の新春演奏会が行われました。「ふじの山」「ふるさと」「荒城の月」などの懐かしい曲をはじめ8曲が演奏され、百人以上の来場者が大正琴の美しい音色に耳を傾けていました。また、来場者には歌詞が配られ、琴の演奏に合わせていっしょに歌う場面もありました。来場者の歌声と大正琴の音色が会場いっぱいに響き渡り、楽しい時間が流れました。

【有吉敏高さん】

いい1年になることを願って



1月3日に福間海岸で玉せりが行われました。玉せりは、毎年この日に行われる南町区と緑町区の伝統行事です。新年を迎え、1年の豊漁などを祈願して行われます。和津津美神社に集った締め込み姿の男衆たちは諏訪神社を参拝した後、福間海岸に戻り、威勢のいい掛け声とともに海の中で玉を競り合っていました。子どもたちも参加して寒空の下、一生懸命掛け声をかけている姿に、大勢の見物客から拍手が送られていました。

【徳永孝志さん】

おにぎらずの作り方

- ①のり1枚の上に茶わん約1杯分の御飯をのせて広げる。
- ②お好みの具を御飯の中央に置く。
- ③四隅から御飯ごと持ち上げるようにして張りを持たせて包む。
- ④裏返して手で軽く押さえ平らにして出来上がり。

均等に厚さに広げる。
御飯は具よりやや大きめに広げる。
この丸みがポイント!
のり
御飯

★しばらく置けば御飯の水分でのりがぴったりフィットするよ!

寒いこの時期は早起きがつらいですね。でも、体を温めて体調を整えるために朝食は大切です。必ず食べる習慣をつけましょう。

時間が無い朝はおにぎらずがお勧めです。1品でも栄養バラ

「おにぎらず」で簡単朝食！

インスのとれた朝食を作ってみませんか。前日の夕食の残りなどを利用して、タンパク質と野菜の組み合わせで挟む具を用意しておけば、短時間で作れます。職場や学校に持っていくこともでき、忙しい人にもお勧めです。

みんなで食育

毎月19日は「食育の日」です

福津市いきいき健康課健康づくり係(ふくとぴあ)
☎34・3351
メール fukutopia@city.fukutsu.lg.jp



▲親子でのんびりくつろげる場所です

開催日は、早朝からスタッフがままごとの道具や積み木が

福間郷づくりの紹介「子育てサロンわくわくひろば」

福間郷づくりは、福間郷づくり交流センター(ふくまきん)で子育てサロンわくわくひろばを開催しています。地域の乳幼児親子がゆつたりと遊べ、ほっとできる場所作りのため、12年前から続けている活動です。

開催日は、早朝からスタッフがままごとの道具や積み木が

子育てサロンの中では回数が多く、交流を深めやすくなっています。昨年は、保護者どうしが料理を学び合う自主サークルが結成されました。また、子どもが幼稚園などに入った後は、スタッフとして関わってくれる保護者もいます。支援される側から支援する側へと、郷づくりの活動を支える人材が育つ場にもなっているのはとてもうれしいことです。

(福間地域郷づくり推進協議会)

郷づくり

みんなの力で

「郷づくり」とは?
市内をおおむね小学校区単位で八つの地域に分け、地域の住民や団体が、課題解決や魅力ある地域にするために活動しています。

福津市郷づくり支援課(津屋崎庁舎)
☎52・4913
メール sato@city.fukutsu.lg.jp
郷づくりホームページ
http://wagamachi.city.fukutsu.lg.jp